

【本教材について】

- テーマ： 2. 災害から住民の命を守るには
- 単元名： 2 被害を最小限とするための取り組みと地域に対する防災知識の普及
- 所要時間： 60分程度
- 準備：
 1. 班の分だけの模造紙と、参加者の分だけの細マジック(黒)、付箋紙(3色)を準備して下さい。
 2. 適宜、スライドの追加や変更をすることができます。参加者の特性(自主防災組織等の会長が多いか、在職期間が長いかなど)に応じて、内容の追加・削減や修正・変更を検討することで、より良い研修効果が期待できます。
 3. 実際に研修を行う前に、何人かのグループを作り、練習し合う場を設けることもよい研修とするうえで効果的です。

自主防災組織等のリーダー育成研修

災害から住民の命を守るには

被害を最小限とするための
取り組みと
地域に対する防災知識の普及

学習目標と内容

●学習目標

災害時に必要な地域の情報収集と伝達方法を理解し、自主防災組織のリーダーとして、避難の際の要配慮者への支援及び地域の防災意識を向上する方法を理解する

<目次>

- 地域の情報収集・伝達 P. 4～14
- 要配慮者の地域ぐるみでの支援体制 P. 15～33

1. 地域の情報収集・伝達

災害発生前後にとるべき行動(主に自助・共助)

【風水害】



大雨・台風・竜巻等のおそれ

【住民等が取るべき行動】

自助

気象・避難等の情報収集

- ・気象情報や自治体からの避難情報等の情報の収集

自助

共助

公助

指定緊急避難場所等への
避難・避難支援

- ・より安全な場所(指定緊急避難場所や近隣の安全な場所等)への避難

- ・避難行動要支援者の避難を支援

洪水・浸水・
土砂災害・高潮等の発生

共助

公助

指定避難所での避難生活・
在宅避難者支援

- ・避難生活が長期化する場合、避難所運営

- ・在宅避難者で食料や救援物資等の支援が必要な方への支援

災害発生前後にとるべき行動(主に自助・共助)

【地震災害】



地震の発生

自助

身の安全の確保・避難

【住民等が取るべき行動】

- ・身を守る行動、火の始末、自宅の初期消火、家族の安否確認

建物倒壊・火災の発生等

共助

安否確認・被害情報の収集・
消火・救出・救護など

・安全第一

共助

避難誘導・避難支援・
二次被害の防止など

- ・避難場所等への避難
- ・避難行動要支援者の避難支援等
- ・避難時にはブレーカーを切る、ガスを止める

共助

指定避難所での避難生活・
在宅避難者支援

公助

- ・避難生活が長期化する場合、指定避難所の運営
- ・在宅避難者で食料や救援物資等の支援が必要な方への支援



地域のいのちを守るには
自助の力に加えて
共助の力で災害を乗り越える
ことが不可欠です

災害に際しての主な活動内容



情報収集・伝達 安否確認

災害に関する正しい情報を把握しながら次の行動に備えましょう。また、家族の安否確認も行いましょう。



出火防止 初期消火

火災を防ぐために火の元を確認し、ガスの元栓を閉め、出火したとしても小さな炎のうちに消火しましょう。



救出・救護

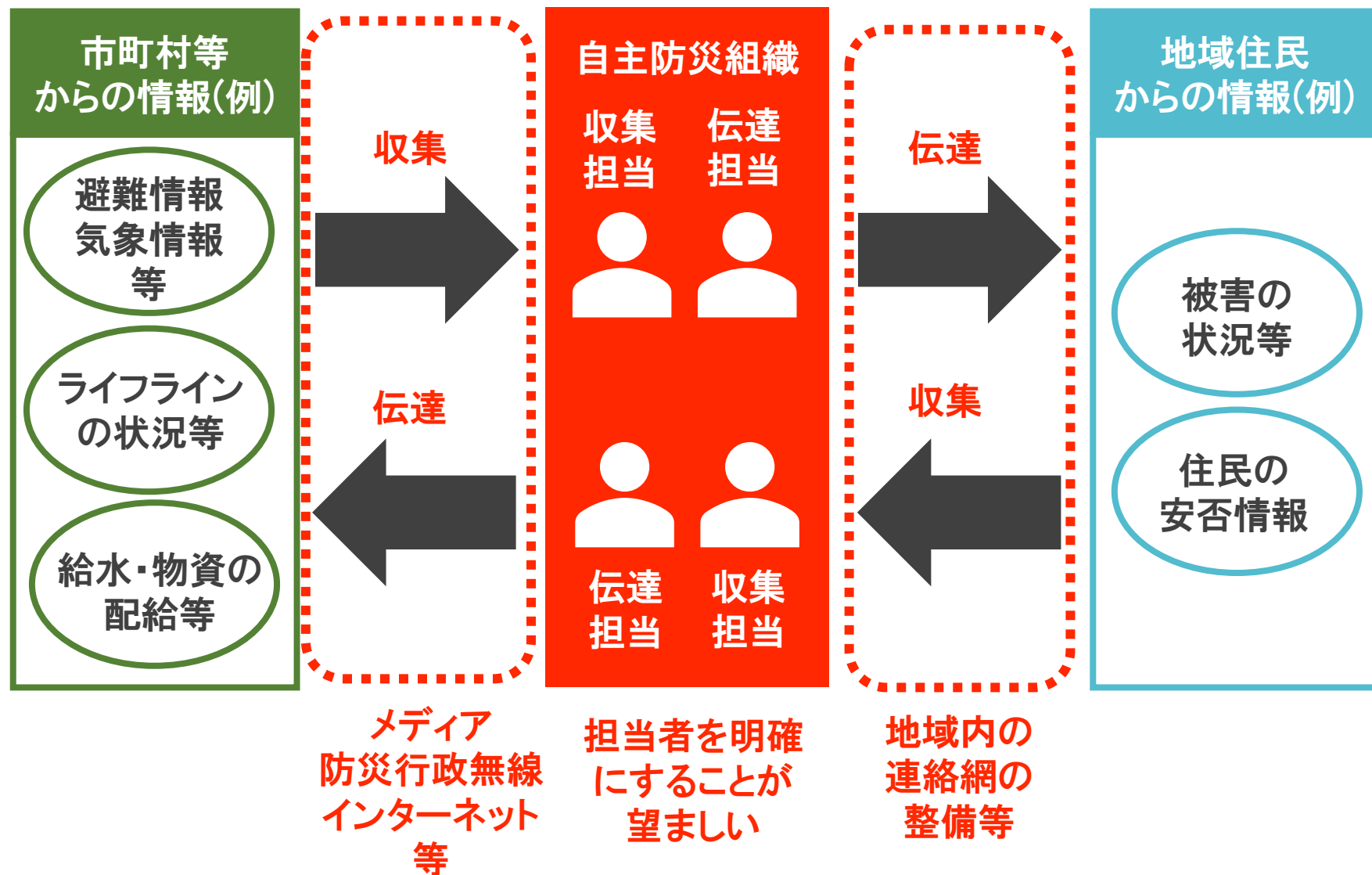
救急車の到着が遅れ救助活動が間に合わないことも考えられます。軽いケガなどの対処法を身に着けておきましょう。



避難誘導

近所で力を合わせながら、配慮や助けが必要な人には声をかけ、一緒に避難誘導をするなどの支援をしましょう。

情報収集・伝達の流れ



【事例】「情報伝達」の先進的な事例

■放送を活用した情報伝達

ゆるじ
(百合地区防災会:兵庫県 豊岡市)

- 自治会独自の屋外放送設備を設置している。台風が来た際に、市から避難指示が出たが指定避難所では間に合わないと、自治会保有の屋外放送設備で「神社の社務所を避難所にする」旨を放送した。
- 一人暮らし高齢者を救出し、安否を確認をした

参考:内閣府防災「地域コミュニティの力を活用した風水害対策の活動事例」

■ブロックごとに被害状況を報告

しみず おりど
(清水区折戸五区自主防災部会:静岡県 静岡市)

- 地区を5ブロックに分け、ブロックリーダーを配置。避難が完了したら、ブロックリーダーが、ブロックの「被害確認状況報告書」を防災リーダーに提出。防災リーダーが取りまとめて、折戸五区防災本部へ報告する。

参考:静岡県「夜間を想定した津波避難訓練」

皆さんの地域では
住民の安否確認の方法は
決まっていますか？

【事例】「安否確認」の先進的な事例①

■目印を利用した安否確認

かぎとり
(鉤取ニュータウン町内会:宮城県 仙台市)

- 住民自ら自宅の玄関に「目印」を掲げて、「無事」を知らせる
- 班長は、地域を見回り、目印が掲げられてない世帯の無事を確認する
- 地震発生後 35 分で、全 129 世帯約 400 人の安否を確認できた



参考:仙台市「東日本大震災時の自主防災活動-あの日-」

■ホワイトボードを利用した安否確認

とつか
(グランフォーレ戸塚ヒルブリーズ自治会:神奈川県 横浜市)

- 管理棟に、各戸の部屋番号が予め記入されたホワイトボードを常設し、災害時には各世帯が自分で安否の状況を書き込む



記入例

安否確認数

居住者数

参考:横浜市危機管理室「ヨコハマの「減災」アイデア集」

【事例】「安否確認」の先進的な事例②

■マップを利用した安否確認

(平成19年能登半島地震:石川県 輪島市)

- 地域マップは、寝たきりや一人暮らしの高齢者などの所在地を蛍光ペンで色分けして、あらかじめ明らかにした地図
- 民生委員や福祉推進委員が日頃の見まわり活動を通じて、高齢者などの所在地が頭に入っていたこと、顔なじみになっていたことが功を奏した
- 発災直後の避難誘導活動だけでなく、その後の在宅避難者支援(特に要配慮者)などの活動でも役立った



図. 地域みまもりマップ (イメージ)

高 齢 者	もも色	ねたきり高齢者 (名前を記入)
	き色	一人暮らし高齢者
	みどり色	その他の高齢者
障 害 者	そら色	障害者 (名前を記入)

参考:内閣府防災「コラム「地域みまもりマップ」による迅速な安否確認(能登半島地震)」

【事例】「安否確認」の先進的な事例③

■超高層マンションにおけるオンライン環境を活用した安否確認体制の構築

(DEUX TOURS防災区民組織:東京都)

- SNSアプリ(LINE)上のマンション公式アカウントを活用し、各居住者が安否情報を登録・送信することで、部屋番号などの情報とともに各戸の安否情報や回答状況等を見える化し、一括管理できる体制を構築。
- 各階の「防災フロアリーダー」を対象に、LINEの「オープンチャット」を設け、優先度の高い要配慮者の安否情報の迅速な把握、各階のリーダーとの相互協力体制を構築。



マンション公式アカウント画面



関係者とのリモート会議の様子

参考:東京消防庁「第19回 地域の防火防災功労賞 事例集」(令和5年1月)

1. 地域の情報収集・伝達

- まとめ -

- 災害時に、地域のいのちを守るための共助活動を的確に実施するには、地域の状況を理解するための情報を収集し、伝達することが不可欠です
- 地域で情報収集・伝達や安否確認を円滑に行う仕組みを理解し、地域ぐるみで取り組みましょう

2. 要配慮者の地域ぐるみでの支援体制

要配慮者とは

要配慮者

高齢者、障害者、難病患者、乳幼児、妊産婦、外国人、LGBTなど特に配慮を要する者

避難行動要支援者

要配慮者のうち、災害時等に自ら避難することが難しく、特に支援が必要な者
(介護が必要な高齢者や一定程度の障害を持つ方など)



災害時の避難支援

避難支援等関係者

避難行動要支援者の避難支援等に関係する者

※避難行動要支援者名簿

避難支援には、避難行動要支援者名簿の作成が重要です。

避難行動要支援者名簿は個人情報の取り扱いに注意が必要ですが、全国的に活用が進んでいます。

要配慮者への支援の必要

- これまでの災害では・・・
高齢者などを中心に、逃げ遅れによって被災したり、過酷な避難所生活で病気にかかったりした
- このような**要配慮者**への避難の支援や避難所生活での配慮などは、その人の身近な存在である隣近所同士で助け合うことが基本
- 平常時に地域で支援体制をつくっておくことが必要

地域の中には、「自力で避難」することが困難な方々がいらっしゃいます
どのような方が避難が難しいと考えられますか？

実際に被災した要配慮者や要配慮者の家族の体験談を見てください

要配慮者	困りごと・体験談
高齢者	階段を降りられないため、停電でエレベーターが停止したら避難できない。
車いすの人	避難する人と車いすがぶつかり、ひっくり返るのではないかと不安。 車いすのタイヤは空気ゴムなので、がれきやガラスが散らばっているとパンクして動けない。
視覚障害	避難所は障害物が多い。誰かがいてくれれば安心する。
聴覚障害	会話はできるが、マイクの音声は聞き取れないので、文字に書いてほしい。口を見て聞いているのでゆっくり話してほしい。
知的障害等	自閉症は字が読めなくても、図柄のカードで示されると理解できる人が多い。場所・手順など避難所の壁にカードなどが貼ってあるといい。
心身障害	人が大勢いるところは苦手。静かな空間や、話を聞いてくれる人がいると安心できる。大きな声を出すから周囲の人に迷惑をかけてしまう。



自力避難が困難な人達のことを考える

【個人検討】 <3分>

- 皆さんの周りにいる、自力で避難が困難な方について、どのような方がいるかを青色の付せん紙に書き出して下さい。

足の
不自由な人

寝たきりの人



自力避難が困難な人達のことを考える

【個人検討】 <3分>

- 青色の付せん紙に書き出した、自力で避難が困難な方について、避難するときに、どんなことに困るのかを付せん紙(黄色)に書き出して下さい。

足の
不自由な人

階段や段差
を移動する
のが大変

素早い行動
が取れない

寝たきりの人

一人で避難
できない

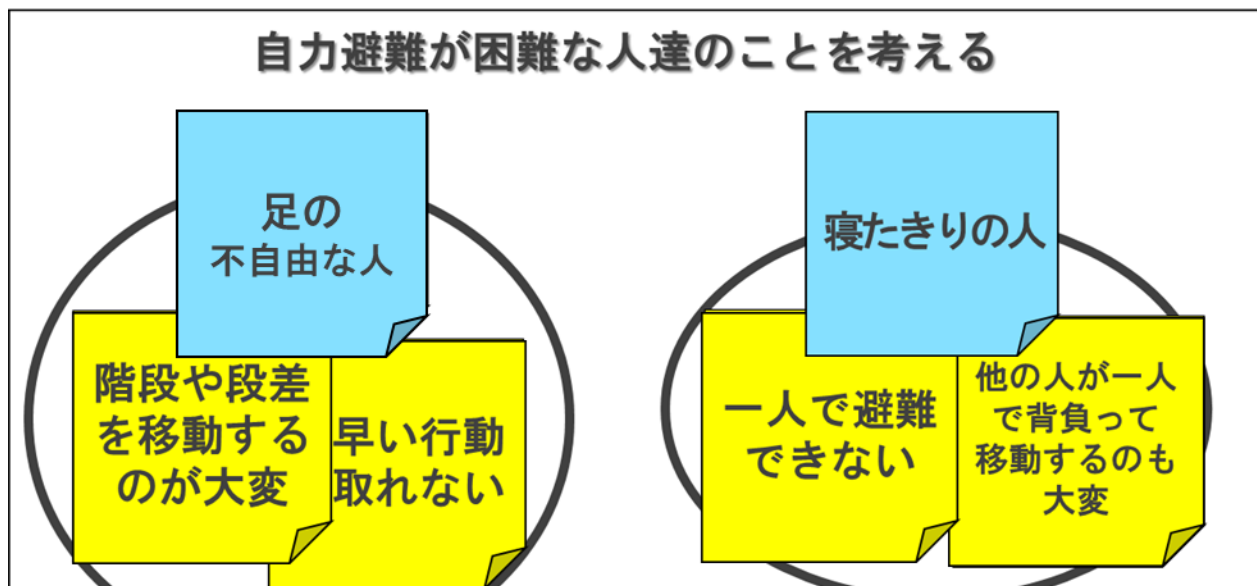
他の人が一人
で背負って
移動するのも
大変



自力避難が困難な人達のことを考える

【グループ検討】 <10分>

1. 1人が、青色の付せん紙と関連する黄色の付せん紙を読み上げ、模造紙に貼ります。
2. 他の方は、同じ内容の付せん紙があったら近くに貼ります
3. 貼り終わったら、次の人の番。(1と2を繰り返す)
4. 全員が貼り終わったら、困る人とその困りごとを、マジック黒丸で囲みます。



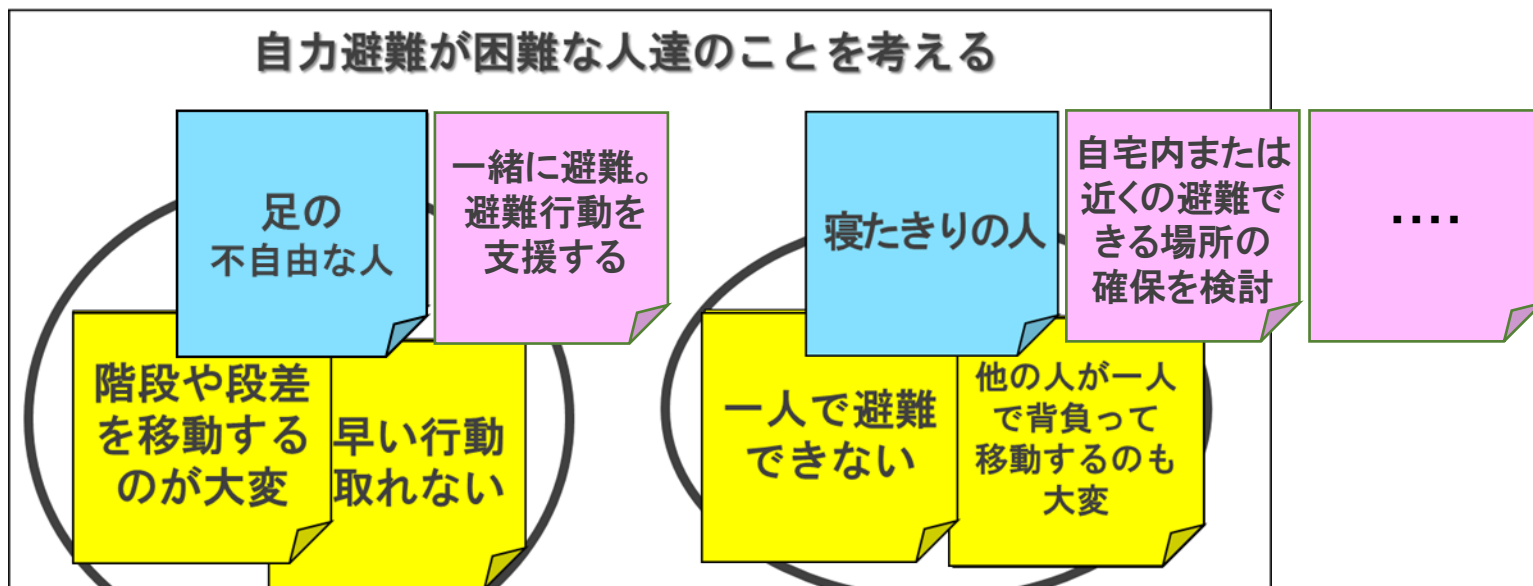


自力避難が困難な人達のことを考える

【グループ検討】 <10分>

- グループで作業した結果を見ながら、自力で避難することが難しい方にどんな支援が必要か、グループで話し合ってみましょう。
- 支援の方法を赤色の付せんに書き出し、青色の付せんの近くに貼って、整理してください。

どんな支援が必要か





ワークのまとめ

- 地域には様々な要配慮者がいます
- 自力での避難が困難な避難行動要支援者に対してもそれぞれの特性に応じた配慮や支援が必要です

要配慮者ごとの避難時や避難生活における配慮や支援①

要配慮者のそれぞれの特性に応じた、配慮や支援が必要になります

困りごとを抱える方	困りごと	必要な配慮・支援(例)
高齢者 (特に要介護高齢者)	- 緊急判断や素早い行動ができない - 足腰が弱く、ちょっとした段差の登り降り等が難しい - 避難所での生活に順応するのが難しく、体調を崩したりすることがある - のどの渇きを認知しにくい - 配給される物資などを個人スペースにためることがある	- 優先的な安否確認と避難誘導 - 自力で移動できる範囲に適切な避難場所が確保できない場合、移動手段の確保 - 避難所の個室と段差の解消 - トイレが近い居住場所の確保 - 居室の温度調整 - 徘徊の症状のある認知症の方は、行方不明にならないように周りの方に声をかけてもらう等の配慮 - 共用の食事スペースなどの用意

要配慮者のそれぞれの特性に応じた、配慮や支援が必要になります

困りごとを抱える方	困りごと	必要な配慮・支援(例)
知的障害者	- 避難先での環境変化に対応できない - 情報が理解できない	- 家族と一緒にいられる、落ち着いたスペース、個別の居室の提供 - 家族を通じた情報等の提供
視覚障害者	目視による状況把握ができない	- 壁伝いにトイレなどに行くことができるような居住スペースの確保 - 順路に手すりなどを設け、移動経路上に障害物を置かない
聴覚障害者	- 音声による情報が伝わらない - 外見からは障害があることが分かりづらい	- 手話通訳者、要約筆記者等の確保 - 必要な情報は、リーフレットなどの印刷物や書き物によって伝達
精神障害者	精神的動揺が激しくなる場合がある	- 服薬が継続できることの確認 - 人前で安易に病名等を口にしない - こころのケアチームの巡回や精神科医の診察が受けられるよう調整

要配慮者ごとの避難時や避難生活における配慮や支援③

要配慮者のそれぞれの特性に応じた、配慮や支援が必要になります

困りごとを抱える方	困りごと	必要な配慮・支援(例)
肢体不自由者	- 補助具がない場合、自力での移動が困難 - 自力での衣服の着脱、食事、排泄等が困難な場合が多い	- 本人の意向を確認の上、できるだけ出入口やトイレの近い場所を確保する等移動が少なく済むよう配慮 - 車いす等の補装具及び通れる通路を確保 - 車椅子の補装具の破損への対応、メンテナンスキットの準備
内部障害者	- 外見からは障害があることが分かりづらい - 常時服薬している薬の確保(病状の悪化を懸念)	- 医療機関と連携し専用の装具や薬品などの物品の入手、透析患者への手配 - 簡易オストメイト対応トイレの配備
難病患者	特殊な薬剤や継続的な服薬、医療的ケアが必要	疾患に応じた必要な医薬品や薬物療法等が、継続的に必要な患者に対しての医薬品や医療を確保

要配慮者ごとの避難時や避難生活における配慮や支援④

要配慮者のそれぞれの特性に応じた、配慮や支援が必要になります

困りごとを抱える方	困りごと	必要な配慮・支援(例)
妊産婦 乳幼児	- 素早い行動ができない - 一人で行動ができない - ゆっくり体を伸ばして休む場所がない - 授乳スペースがない - 子どもの夜泣きが気になる - ミルクやおムツが必要	- 介助者や支援者を確保し、避難行動を支援 - 妊産婦や乳幼児用のスペースの確保 - ミルクやおムツの手配 - 適切なアドバイスのできる保育士や保健師の支援要請 - 子どもの遊び場の確保

要配慮者ごとの避難時や避難生活における配慮や支援⑤

要配慮者のそれぞれの特性に応じた、配慮や支援が必要になります

困りごとを抱える方	困りごと	必要な配慮・支援(例)
外国人	- 必要な情報が得られない - 周囲とのコミュニケーションが困難 - 宗教上の理由により、生活習慣の違いがある	- 専門用語の対訳されたカードの用意 - ピクトグラムを活用したコミュニケーション - お祈りが出来る部屋などの用意 - 特定の食物をのぞいた食事の用意 - 様々な言語を話せる人の確保
LGBT	着替え場所やトイレに困る	- 誰でもトイレの確保 - 個室の更衣室の確保 - 当事者や支援者が集まれる空間の確保

【事例】避難支援体制を確保するための取組①

■「**支え合いマップ**」の作成

ほりのうち
(堀之内区自主防災組織:長野県 はくば 白馬村)

○ 誰が誰の安否確認を行うのか支え合いマップ作成で特定

- ・ 対象者(要配慮者)、組長、民生委員等を中心に調整し、それぞれの対象者(要配慮者)に対して、支援者を特定し、マップ上に表示。
- ・ マップの対象者には、常日頃から、民生委員を中心とした見守り活動を実施。
- ・ 平成26年11月に発生した地震発生時(最大震度 6 弱)に、円滑に安否確認や避難支援ができた。

○ 自治会役員と民生委員が連携して マップを作成

○ 毎年更新できる名簿が必要との認識が 浸透した



災害時住民支え合いマップ
づくりの取組

参考:長野県神城断層地震災害記録集

【事例】避難支援体制を確保するための取組②

■「避難支援個別計画」の作成

いずるいし
(出石町会 防災区民組織:東京都 品川区)

○ 支援方法や支援者を計画の中で決めておく

- ・ 避難行動要支援者一人ひとりの支援方法や支援者を事前に決めておく。
- ・ 名簿に掲載している避難行動要支援者全員分の個別計画書を作成した。

○ 継続的な安否確認訓練の実施

- ・ 毎年の防災訓練時に、避難行動要支援者への安否確認訓練を実施している。
- ・ 防災訓練時には個別計画書を活用して、計画内容を検証している。



避難支援個別計画づくりの取組

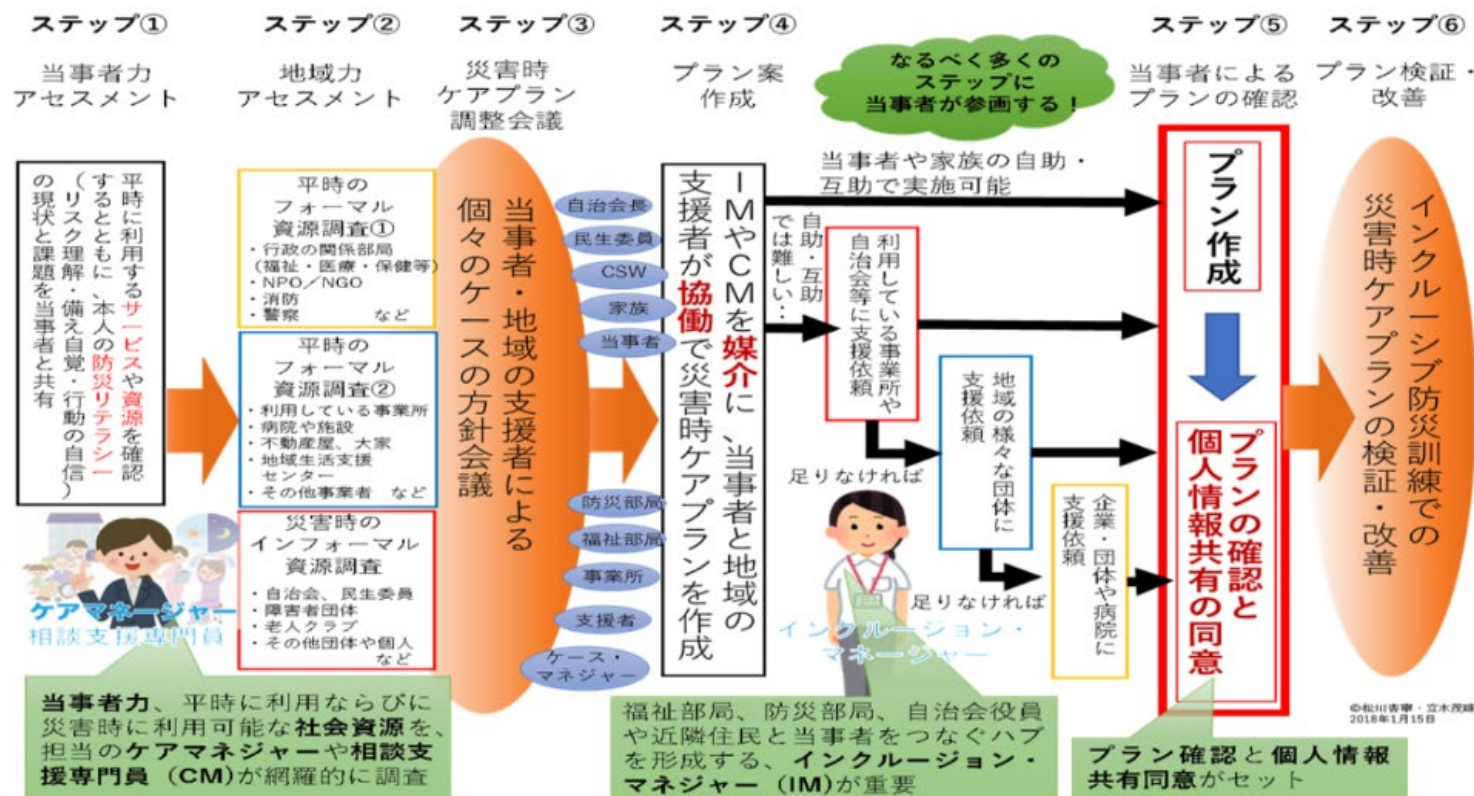
品川区避難支援個別計画書

参考:品川区「避難行動要支援者の支援体制づくりの手引き」

【事例】避難支援体制を確保するための取組③

■「避難支援個別計画」の作成（別府市）

- 平成29年度から、介護支援専門員（ケアマネジャー）や相談支援専門員等の福祉関係者が参加し、当事者や地域、行政等が連携して個別避難計画作成に取り組んでいる。



誰一人取り残さない防災 福祉専門職が参画した個別計画の策定（別府市）

【参考】身体障害者補助犬への対応について

- 身体障害者補助犬(盲導犬、介助犬及び聴導犬)は、「身体障害者補助犬法」に基づき訓練・認定された犬のことで、ペットとは異なり、同法に基づく対応が必要になります。
- このため、原則として、身体障害者と身体障害者補助犬を分離せず福祉避難所等で受け入れるべきとされていることに留意する必要があります。

- 平時から地域の方々に、災害時には避難者の方々に、身体障害者補助犬に対する理解を求めてください。また、災害時に備えて、避難所での受け入れ訓練などを実施することも大切です。
- アレルギー等がある方などに対しては、避難所内の生活圏を離す、別室を用意するなどの配慮が必要となる場合があります。

盲導犬：視覚障害のある人が街なかを安全に歩けるようにサポートする。

介助犬：肢体不自由のある人の日常生活動作をサポートする。

聴導犬：聴覚障害のある人に生活の中の必要な音を知らせ、音源まで誘導する。

(出典：「人とペットの災害対策ガイドライン」(環境省))

【身体障害者補助犬の種類と役割】



出典：厚生労働省「ほじょ犬 もっと知って BOOK」

意思疎通がとれず困っている
外国人の方と、どのようにコミュニ
ケーションをとりますか？

災害に関する情報の入手が
できず困っている外国人の方が
いた場合、どのように必要な情報
を伝達しますか？

災害時における外国人対応

災害時における多言語での情報提供や避難支援等に活用可能な各種ツールがあります。
あらかじめダウンロードして、積極的に活用しましょう。

情報提供・支援ツールの例	ツールの概要
災害時多言語支援シート等	災害時に避難所や公共交通機関等で活用できる外国人向けの情報提供(支援)ツール。やさしい日本語を含む多言語に対応し、HPから誰でも簡単操作で活用可能。
多言語音声翻訳ツール (VoiceTra等)	話しかけると外国語に翻訳してくれる音声翻訳アプリ。「VoiceTra」や、「VoiceTra」の多言語翻訳技術を活用した様々な民間企業の製品・サービスが提供されている。
Safety tips	日本国内における緊急地震速報、津波警報、気象特別警報等を多言語かつプッシュ型で通知できる災害時情報提供アプリ。

それぞれの概要は次スライド以降の「【参考】災害時の外国人への情報提供・災害対応支援ツール」に掲載

【参考】災害時の外国人への情報提供・災害対応支援ツール①

ー ツール例：災害時多言語表示シートー

自治体国際化協会作成資料



災害時多言語表示シート：災害時に避難所や公共交通機関等で掲示する情報掲示シート

- ▶ クリアホームページから誰でも簡単操作で活用可能
- ▶ やさしい日本語を含む13言語対応

(※) 英語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語（簡体字・繁体字（別個に選択可能））、韓国・朝鮮語、タガログ語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、ミャンマー語、ネパール語

- ▶ 2019年度に交通情報など訪日旅行者支援関連文例、気象情報文例も追加
- ▶ 全396文例（避難所内施設表示案内、医療、水道、トイレ、風呂、利用時間表示、電話関係、ゴミ、配給、ライフライン復旧、交通情報、地震・気象情報、役所からの通知、規則事項、呼びかけ、訓練など）

災害時多言語表示シートSAMPLE

メッセージ番号：0310

（飲料水・食料・毛布）があります。

英語

(Drinking water/ food/ blankets) available .

ベトナム語

Có [(nước uống / thực phẩm / chăn mền)]

中国語（簡体字）

有（饮用水・食物・毛毯）

ミャンマー語

(သောက်စရာရေ၊ အစားအစာ၊ စခင်း)များရှိသည်

連絡先 ○○国際交流協会
○○こくさいこうりゅうきょうかい

住所 東京都千代田区麹町1-7

電話 03-△△△-△△△△
FAX 03-△△△-△△△△

【文例】

施設 避難所、受付、救護所、ボランティア受付
表題 案内、最新情報、生活の注意 外国語の情報がります 通訳がいます
避難所 無料で利用できます お祈りできるスペースがあります
医療 医師がいます 応急処置ができます
水道 この水は飲めません
トイレ このトイレは使えません
入浴 入浴時間： 〇：～ 〇：
電話 ここで携帯電話の充電ができます
ゴミ 燃えるごみ、粗大ごみ、
配給 家族に 〇人です 食べるものは 〇時 分に配ります
地域情報 ガスの使える地域 以下の場所です入浴ができます
規則 靴をここで脱いでください 火気厳禁 消灯時刻
交通情報 交通が止まっています 現在、大幅に遅れています
気象 ～から避難勧告が出されました 大雨（土砂災害） 台風 高潮

【参考】災害時の外国人への情報提供・災害対応支援ツール①

自治体国際化協会作成資料



ー ツール例：多言語指さしボード、災害時外国人支援用ピクトグラム ー

○ 多言語指さしボード

- ▶ 災害時に避難所等に避難してきた外国人と“とりあえず”のコミュニケーションが出来るツール
- ▶ やさしい日本語を含む14言語対応
- ▶ 避難者登録カードへの記入誘導に対応

多言語指さしボード (サンプル)

2. 避難所スタッフ用 | 表面

① 避難アプリを使っていますか？

はい / YES いいえ / NO

② 私は避難所のスタッフです

③ 欲しいものはありますか？

④ 避難者登録カードに記入してください

○ 災害時外国人支援用ピクトグラム

& 食材の絵文字(FOOD PICT) (R4年度改訂)

- ▶ ピクトグラムに日本語・やさしい日本語・英語での表示文を付記したツールと、食材の絵文字を使用した食べられないものチェックシート

ピクトグラム (サンプル)

ピクトグラム	表示文
	外国語の情報があります がいここの おしらせ Information Available in Foreign Languages
	救護所 けがを なおす ところ First Aid
	トイレ Restroom
	この水は飲めます この みずは のむことが できます Drinkable Water
	ここで携帯電話の充電ができます ここで けいたいでんわの じゅうでんが できます Phone Charging Available
	お祈りできる場所があります ここで おいのりが できます Prayer Spaces Available
	ベビーケアルーム あかちゃんの ばしょ Baby-care Room
	授乳室(男女共用) ミルクを あげる ところ(おとこ・おんな) Nursing Room (Male/Female)
	男女共用トイレ といれ(おとこ・おんな) All Gender Restroom
	更衣室(男性用) ふくを きがえる ところ(おとこ) Dressing Room (Male)

食材の絵文字 | FOOD PICT

食べられないものにチェックしてください

Please check items that you cannot eat

請在不吃的食物上打勾

請在不吃的食物上打勾

먹지 못하는 것에 체크를 해 주십시오

Mangyari lamang na lagyan ng check ang hindi nakakainagay

Marque o que não pode comer

Cochez les aliments que vous ne pouvez pas manger

Отметьте продукты которые Вы не можете употреблять в пищу

Vui lòng đánh dấu vào món bạn không thể ăn được

โปรดใส่เครื่องหมายในสิ่งที่ไม่สามารถรับประทานได้

உண்ணக்கூடியவற்றில் குறியிட

Centang makanan yang tidak bisa dimakan

අහෝ ඔබ ඔබ ඔබ ඔබ

☐	☐	☐	☐	☐
牛(うし) Beef	豚(ぶた) Pork	鶏(とり) Chicken	羊(ひつひ) Lamb	魚(さかな) Fish
☐	☐	☐	☐	☐
貝(かい) Shellfish	小麦(こむぎ) Wheat	卵(たまご) Eggs	乳(にゅう) Dairy	蕎麦(そば) Buckwheat
☐	☐	☐	☐	☐
落花生(ピーナツ) Peanut	海老(えび) Shrimp	蟹(かに) Crab	酒(アルコール) Alcohol	

【参考】災害時の外国人への情報提供・災害対応支援ツール②



多言語音声翻訳アプリ

< ボイストラ >

VoiceTra®

無料アプリ

話した内容を外国語に翻訳 31言語に対応！

- 他のサイズはありますか。
- ショッピングで
- 次の列車は何時ですか。
- 駅で
- 穴子ください。
- 寿司屋で



- 旅行会話に最適！
- チェックインは何時ですか。
- ホテルで
- 少し熱があります。
- 病院で

ボイストラ
VoiceTra は、国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) の
“音声認識・翻訳・音声合成” 技術を活用した 多言語音声翻訳アプリ です。

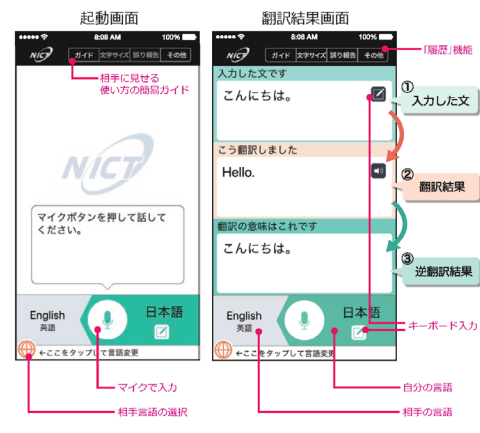


ボイストラ

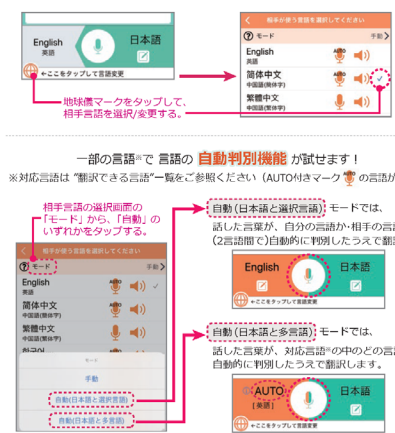
多言語音声翻訳アプリ VoiceTra は、話しかけたことを翻訳します。
ダウンロード・ご利用は、すべて無料* です。

* 本アプリケーションのご利用にはインターネット接続によるデータ通信を必要とします。その際の通信料はご利用者様負担となります。
海外でローミング中にご使用の場合、通信料が高額になる場合があります。ご注意ください。

画面の説明



相手言語の選択



翻訳できる言語 (31言語)

— 日本語～モンゴル語を重点研究言語 (★印は強化対策中言語) としています —

🔊 音声で入力できる (22言語対応) 🗨️ 何語かを自動判別もできる (12言語対応) 🔊 音声が出力される (21言語対応)

- | | | | |
|-------------|--------------|----------|----------|
| 🔊 日本語 | 🔊 ベトナム語 | 🔊 アラビア語 | 🔊 トルコ語 |
| 🔊 英語 | 🔊 スペイン語 | 🔊 イタリア語 | 🔊 ハンガリー語 |
| 🔊 中国語 (簡体字) | 🔊 ミヤンマー語 | 🔊 ウクライナ語 | 🔊 ヒンディ語 |
| 🔊 中国語 (繁体字) | 🔊 フィリピン語 | 🔊 ウルドゥ語 | 🔊 ポーランド語 |
| 🔊 韓国語 | 🔊 ブラジルポルトガル語 | 🔊 オランダ語 | 🔊 ポルトガル語 |
| 🔊 タイ語 | 🔊 クメール語* | 🔊 シンハラ語 | 🔊 マレー語 |
| 🔊 フランス語 | 🔊 ネパール語* | 🔊 デンマーク語 | 🔊 ラオ語 |
| 🔊 インドネシア語 | 🔊 モンゴル語* | 🔊 ドイツ語 | 🔊 ロシア語 |

※言語数については、中国語の簡体字と繁体字は1言語として数えています。

アプリのダウンロードはこちらから

右のQRコードか、下のVoiceTra サポートページの
バナーリンクからアクセスしてください。
※アプリのインストール間違いにご注意ください。



VoiceTraサポートページ
<https://voicetra.nict.go.jp/>



Facebookページ @VoiceTra.Support
<https://www.facebook.com/VoiceTra.Support/>

【参考】 災害時の外国人への情報提供・災害対応支援ツール②

「VoiceTra」の多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービス

<ご利用対象>

法人向け 個人向け

<提供形態>

端末 アプリ・ソフトウェア

音声翻訳サービス

●「POCKETALK®S」

ポケットーク(株)



●「VoiceBiz® UCDisplay」

TOPPAN(株)



●「TransDisplay」

VM-Fi (台湾, 台北)



●「Fairy I/O® Tumbler T-01」

Fairy Devices(株)



●「eTalk 5 未来PFモデル」

RemoSpace(株)



●「医療通訳タブレット MELON」

コニカミノルタ(株)



●「ハイブリッド式多言語通訳サービス KOTOBAL」

コニカミノルタ(株)



●「ポケットーク」アプリ版

ポケットーク(株)



●「ポケットーク同時通訳」

ポケットーク(株)



●「SmaLingual シリーズ 多言語音声翻訳サービス」

(株) IP DREAM,
スマートカルチャー
ゲートウェイ (株)



●「VoiceBiz®」

TOPPAN(株)



●「RemoteVoice®」

TOPPAN(株)



●「mimi® 音声翻訳 powered by NICT」

Fairy Devices(株)



●「Fujitsu Software LiveTalk」

富士通(株)



●「BRIDGE マルチ通訳アプリ」

(株) BRIDGE MULTILINGUAL
SOLUTIONS



●「eTalk5APP 未来PFモデル」

RemoSpace(株)



【参考】 災害時の外国人への情報提供・災害対応支援ツール③

－ 災害時情報提供アプリ「Safety tips」－



機能

- ・ 自然災害の多い日本において訪日外国人旅行者が安心して旅行できるよう、平成26年10月から提供を開始した観光庁監修の外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ。
- ・ 日本国内における緊急地震速報、津波警報、気象特別警報等をプッシュ型で通知できる他、周囲の状況に照らした避難行動を示した対応フローチャートや周りの人から情報を取るためのコミュニケーションカード、災害時に必要な情報を収集できるリンク集等を提供。

■ 対応言語：14か国語15言語

日本語・英語・中国語（簡体字/繁体字）・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・タイ語・インドネシア語・タガログ語・ネパール語・クメール語・ビルマ語・モンゴル語

■ アプリ利用料：無料

■ プッシュ通知される情報

緊急地震速報、津波警報、気象警報、噴火速報、台風情報、熱中症情報、国民保護情報、避難情報



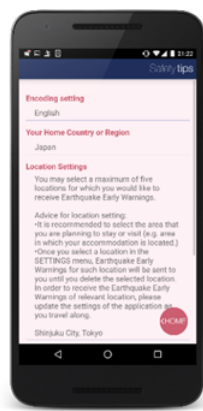
プッシュ通知

とるべき行動

Android:



iPhone



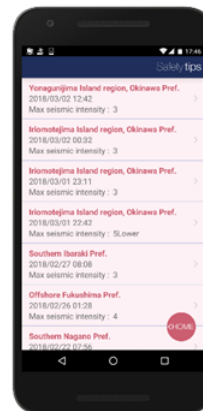
言語はアプリ内
設定ボタンで選択可能



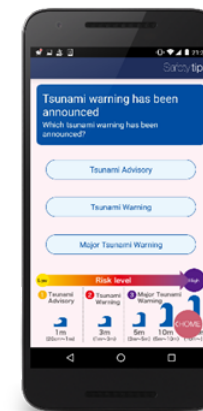
地震発生時の
周辺震度も表示



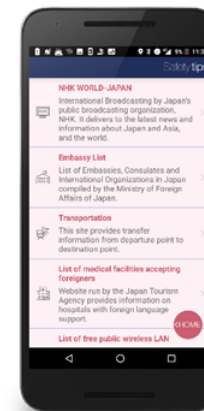
災害発生箇所と
現在地の見える化



災害情報の履歴も表示



対応フローチャート



リンク先

【参考】 災害時の外国人への情報提供・災害対応支援ツール③

－ 災害時情報提供アプリ「Safety tips」－



天気予報

気象情報・台風情報



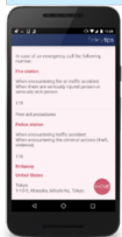
「気象情報」内の「台風情報」にて、気象庁が発表している台風情報の確認が可能

避難情報



- ・過去1ヶ月分、ユーザーが予め登録した地点(自動地点設定をしている場合は現在地)を表示
- ・避難所情報(外部アプリ)へは、ページ下部にリンクを掲載

緊急連絡先情報



- ・110番、119番の利用上の注意点とワンクリックダイヤル
- ・利用者の登録した母国情報に応じた大使館へのワンクリックダイヤル



対応言語

トップ画面

日本語、英語、中国語(簡体字/繁体字)、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、タガログ語、ネパール語、クメール語、ビルマ語、モンゴル語

警報等の発表状況

外国人受入可能な医療機関情報



各都道府県の外国人受入可能な医療機関情報を提供

交通機関情報

事前学習



各種警報についての解説



応急処置情報

リンク先一覧

- ・NHK WORLD-JAPAN・大使館情報
- ・交通機関情報・医療機関情報
- ・無料公衆無線LAN情報・気象庁サイト
- ・日本政府観光局サイト・政府ポータルサイト
- ・音声翻訳アプリ「VoiceTra」紹介
- ・災害関連ニュースポータルサイト

2. 要配慮者の地域ぐるみでの支援体制 - まとめ -

- 地域で協力し合って、避難行動要支援者を把握し、避難を支援しましょう
 - 個人・自主防災組織・自治会など、避難支援者を確保する
 - 複数人で役割分担し、地域の支援者の輪を広げ、避難支援者の負担を軽減する
 - 計画の作成後も、避難訓練を通じて、計画を改善し、避難の実効性の向上を図る

まとめ

- 地域で情報収集・伝達や安否確認を円滑に行う仕組みを理解し、地域ぐるみで取り組みましょう
- 地域で協力し合って、避難行動要支援者を把握し、避難を支援しましょう